文化的景観通信 R8年 夏 号（第2号）

発行：豊後大野市教育委員会

連日30度を超える暑さの中、外に出て活動することが厳しくなっています。外出したときは、少しでも涼しいところを探してしまうのではないでしょうか？

重要文化的景観「緒方川と緒方盆地の農村景観」では、この季節、涼感ただよう風景が広がっています。心地よい水が流れる音と一面に広がる目に優しい緑をご覧下さい。

重要な構成要素「二宮八幡社参道橋」補修工事

前号に引き続き、緒方川と緒方盆地の農村景観を形づくる重要な構成要素となっています「二宮八幡社参道橋」の補修工事内容を紹介します。

（2）石橋及び階段清掃



石橋の下を流れる原尻古井路の水を利用し、洗浄を行いました。この作業は、目地の部分に生えている雑草やたまった土を除去し、石材を取り外しやすくするために行ったものです。

（3）欄干・輪石の一時撤去



石橋を支える支保工を改修設置する作業工程において、作業の支障となる石橋の欄干と輪石を取り除き、一時撤去しました。この除去に併せて、長年支えてきた鉄製の支保工はお役御免となり、その役割を終えました。

次号では（4）支保工設置の状況を紹介します。

地域の特徴を示す案内板・重要な構成要素を紹介する解説板など関連標識を随時設置しています



★「緒方川と緒方盆地の農村景観」夏の風景

緒方川の両岸や丘陵地に沿って位置する棚田では、一面、水が張られ、それはまるで鏡のように風景を映しだし、やがて、稲の成長とともに、緑一色に変わっていきます。井路には水がとうとうと流れ、原尻の滝と同様、涼しげな雰囲気を醸し出しています。









★「緒方川と緒方盆地の農村景観」を彩る夏の風物詩 小松明（コダイ）火祭り



虫送りの行事で、田んぼのあぜに立てられた松明（たいまつ）の炎の揺らめきは郷愁を誘います。

編集後記　より多くの人に重要文化的景観を知ってもらうため、案内板や解説板の設置を始め、誘導標識などの整備を実施しています。また、季節ごとに移り変わる景観の動画や景観の入口となるＪＲ緒方駅待合室をリノベーションする事業を計画し、進めています。そこで暮らす人々の生活を映し出す景観に興味を持ってもらい、緒方川と緒方盆地の農村景観だけでなく、ゆくゆくは景観をとおして、もっと多くの豊後大野ファンを増やしていきたいものです。

国選定重要文化的景観「緒方川と緒方盆地の農村景観」選定範囲

